

# Weekly Report



## 名古屋アイリスロータリークラブ

例会日 水曜日 13:00～14:00

会長 島村恵三

例会場 ANAクラウンプラザ  
グランコートホテル名古屋

幹事 加藤正広

承認 2013年6月18日

公共イメージ  
向上 藤谷 猛



2022～2023年度名古屋アイリスRCのテーマ

ちょっと無理して一步を踏み出し、  
10年後のアイリスを創造し、  
独自性を発揮して活動しよう。

●お問い合わせ：office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト：http://www.nagoya-iris-rc.jp

### 第411回 例会

2022年8月3日 13:00～

- 司会 荒山久美 例会・出席・親睦委員長
- 斉唱 君が代、奉仕の理想
- 出席報告 出席者数 10名 / 28名  
出席率 35.71%
- ゲスト
- ビジター

### ニコボックス

- 加藤正広 幹事  
本日の卓話、坂口さん自己紹介楽しみにしております。
- 安井忠 ローターリー財団委員長  
7月30日に4回目のコロナワクチンをファイザー製で接種してきました。翌日に半日ですが目がぼーっとして新聞が読めない後遺症が出ました。
- 藤谷猛 クラブ戦略委員長  
猛暑の日が続いております。みなさん、ご自愛ください。
- 坂口忠正 例会運営委員  
本日の卓話、緊張しておりますが宜しくお願い致します。

### 8月度 誕生日お祝い

13日 荒山 久美さん 15日 綿貫 達雄さん  
19日 藤谷 猛さん

### 会長挨拶



皆様こんにちは。

本日は島村会長が治療入院されているため欠席です。副会長の菊田です。よろしくお願いいたします。

富士山は2013年6月22日に世界文化遺産として登録されました。名古屋アイリスRCの設立も2013年6月ですね。富士山は3776.12m日本最高峰の剣が峰、山頂には浅間神社が鎮座しております。その優美な風貌は世界中の人々に愛され日本の象徴として広く知られています。その山体は駿河湾の海岸まで及びます。かねてから富士山に登りたい思いがありました。先月富

士詣を実現することができました。五合目富士の宮ルートよりスタートいたしました。標高 2390m、あいにく天候は雨となり、レインコートを着て登山開始です。七合目までは雨の中登山となり、防水手袋としているにも関わらず雨がしみ込んできました。幸いにも八合目に着いたときは雨もやみ青空が広がっていました。八合目は真っ白な雲海が広がり、雲の峰を三つ四つ見下ろすことができる絶景です。通常五時間半で山頂に着くといわれていますが私たちは9時間かかりました。八合目までは順調でしたが友人の一人が高山病にかかりましたこともありペースを落として進みました。午後三時山頂に到着。山頂では鳥居と素晴らしい夏空が我々を迎えてくれました。山頂の空気を味わっておりました。もっとゆっくりと山頂を味わいたいところですが、日暮れ前にこの山を下りなければなりません。馬の背のルートで下山しました。

馬の背は大変長く長く、そこを歩いていますと左前方に宝永山があります。宝永山の山肌赤く、ちょうど夕陽のころでしたので、山肌は夕陽に映えておりました。葛飾北斎の赤富士を彷彿する赤です。また少し先を行く友人はブロッケン現象を体験しました。ブロッケン現象とは太陽などの光が背後から差し込み現れる大気光学現象です。霧の中に伸びた影と、周りにできる虹色の輪の二現象をまとめて指しています。

富士詣では狭い登山道を譲り合う姿やあちこちに高山病でダウンし座り込む人たちに敢えて声をかけずただ温かいまなざしを残し登り続ける様子が印象に残りました。

同じ目的に一生懸命にする人々の集まりは素晴らしい、富士登山で出会った人たちに感謝します。

### 卓話

- 卓話者：坂口 忠正 例会運営・出席親睦委員  
演題：自己紹介



こんにちは。例会運営委員の坂口でございます。

先日の夜間例会、大変お世話になりました。皆さんとの親睦も深めることが出来たかな？と思っておりますし、花梨のお食事大変美味しかったです。何より本当に楽しい時間を皆さんとご一緒できたことに感謝申し上げます。9月の夜間例会も楽しみしております。

さて、本日は自己紹介を兼ねて、職業についての卓

話ということで、少しお耳をお貸しいただければと思います。

早速ですが、私は1968年10月に九州の福岡で生まれました。両親は既に他界しておりまして、兄弟は妹が一人。福岡で美容室を営んでいます。学生時代はいわゆる体育会のテニス部に所属し、関西6部制リーグの2部で頑張っていました。とにかく朝から晩までテニス漬けの毎日でした。大学4年間で授業に出た記憶がほとんどないのですが、留年することなく、4年で卒業。その年の4月、今の東海東京証券、当時の東京証券に入社しました。なぜ証券会社に就職したのかと言いますと、当時はバブルの真只中、正確には就職活動をしている1990年はすでにバブルが崩壊し始めていたのですが、証券会社に就職したOBの方々が1年目で車を買ったとか、ボーナスがいくらだったとか、相当景気のいい話をしているのを聞いてまして・・・なんとなく証券会社って、給料が高いな・・・少々しんどくてもこの大学4年間のしんどさに比べたらたいしたこと事ないだろう・・・と相当甘い考えで証券会社に就職しました。

その年は255名の新入社員が入社したのですが、すぐに大後悔です。まあ、つい最近まで学生だった私達にとって、証券会社は想像を絶する激務でした。1年目で約半分が退職。3年目では30名を切っていました。ちなみに今、同期は7名です。1年目で半分が退職した理由は、とにかく予算達成、いわゆるノルマが、過酷過ぎるのが一番の理由ですが、もう一つの小さな理由があります。それは就職した翌年の1992年1月から始まった「愛という名のもとに」というドラマの影響が少なからずあります。出演が鈴木保奈美さん、唐沢寿明さん、江口洋介さんと、いわゆる昔のトレンドードラマですね。バブル崩壊後の不況がベースとなっているのですが、パワハラ、不倫、自殺とまあ、トラブルや不幸のオンパレードのドラマでした。大学の体育会ボート部出身の男女7人の社会人になってからの物語で、その登場人物の中に中野英雄さんが演じるチョロという人物がいました。このチョロが、証券会社に勤めているという設定でしたが、営業成績が最下位で上司からこれでもか！というパワハラを受け、最後に自殺するのですけれども、ドラマ上でのシナリオは、チョロが惚れていた外国の女性に騙され、お客様のお金を横領。その横領がパワハラを受けていた上司に見つかり罵倒され、その上司に暴行、横領の件と暴力事件で追い詰められ最後自殺という筋書きでしたが、いつの間にか証券会社＝自殺という構図になってしまい、当時、両親や友達からお前の会社は大丈夫かと相当連絡が来しました。

で、実際はどうかというと、ドラマなんかより、さらにひどかったです。朝は7時までに出勤して、退社するのは毎日11時過ぎ。土日もお客様先に行くことも多く、とにかく、数字とノルマとパワハラのパワハラオンパレードです。そういう精神的にも肉体的にも追い詰められた時に、両親や友達から、お前の会社は大丈夫か？しんどかったら福岡帰ってこいよ？とか言われると心が揺らいでいましたが、成績も悪くはなかったですし、先輩の方々は仲良くさせていただいていましたし、やはり大学の同級生と比べ、少しだけ給料が高かったこともありますが、何と言っても当時、皆様のような企業経営者の方々を担当

させていただいており、いろいろ勉強させてもらっていたことが辞めない大きな理由ではなかったかと思っています。

そんなこんなで、大阪の高槻で4年半、福岡で3年半、京都で6年と西日本を中心に転勤をし、気が付けば14年間もリテール営業をやっていたのですが、15年目になった時に法人部への配属希望を出しました、それは人生の転機ともなった研修がきっかけでした。

ちょっと話はそれますが、この研修を少し紹介させて下さい。それは日本アスペン研究所が主催するセミナーですが、夏目漱石やシェイクスピア、アリストテレスやカントなど、昔の作家や哲学者達が現代人に何を語りかけているのかという、非常に難易度の高い哲学のセミナーでした。

その中で、フランスの哲学者パスカルのセッションがあったのですが、「人間は考える葦である」って聞いたことがあります？これはパスカルの著書「パンセ」の一説ですが、原文をちょっとご紹介しますね。

「人間はひとくきの葦にすぎない。自然の中で最も弱いものである。だがそれは考える葦である。彼を押しつぶすために、宇宙全体が武装するには及ばない(なんかこのへんからわけわからなくなりますが)。蒸気や一滴の水でも彼を殺すのに十分である。だが、たとえ宇宙が彼を押しつぶしても、人間は彼を殺すものより尊いだろう。(中略)われわれの尊厳の全ては、考えることの中にある。よく考えることに努めよう。ここに道徳の原理がある。つまり人は葦のように非常に弱い存在であるが、考えることができる存在だから偉大なのだとの意味らしいです。その時は「へー」くらいにしか、思っていなかったのですが、その日の寝る時になって、ちょっと待てよ。俺ってちゃんと考えて生きているか？何も考えずに仕事してないか？と疑問に思えてきたのです。証券会社だけでなく、サラリーマンの多くは、会社からある程度の商品とノルマを課せられます。特に証券の場合はこれがきつくて、この投資信託を何億売ってこい。この外国債券を何億売ってこい。この銘柄を何億買ってこい。毎日毎日数字を追っかけなきゃいけません。最初はとてつもなく辛く、それでみんな辞めるのですが、14年もやっていると慣れてくるのです。ただ、ここには自分の意志があまり入っておらず、会社からノルマ化された商品をお客様に買っていただくだけなのです。もちろん、買っていただく為にどうしたらいいかは考えますが、商品までは自分に決定権がないのです。

ちょうどそのころ子供も生まれ、この仕事って子供に自慢できるのだろうか？社会にどういう形で貢献しているか？と思った時期だったこともあり、翌日になって講師の先生に「人が考える」ってなんですかね？と聞いてみました。そうすると、講師の方からハンナ・アーレントの本を読んでみなさい。もっと考えるってことが理解できるでしょうと言われました。

このハンナ・アーレントとは女性でした。第二次世界大戦中にナチスの強制収容所から脱出し、アメリカに亡命したドイツ系ユダヤ人であり、哲学者というか思想家です。この方はある裁判を見に行き、その裁判レポートを発表して世界中から大バッシングを浴びるのですが、その裁判とは自ら収容されていたアウシュビッツ強

制収容所のユダヤ人移送局長官で強制収容所へ数百万人を移送した指揮的役割を担ったアドルフ・アイヒマン(自覚なき殺戮者)のイスラエルでの裁判(通称アイヒマン裁判)ですが、なんとアンナ・ハーレントは、アイヒマンは悪くはないのでは？というレポートを発表したのです。アイヒマンは命令に従う以外に選択肢はなかった。ヒトラーの命令に従っただけであり、そこに自分の意志はなかったのではないかと・・・。

裁判では、アイヒマン本人にユダヤ人を嫌う心や、憎悪などの根本的悪意を証明しようとしたのですが、なにも見つからず、むしろ親戚にユダヤ人がいて親切にされており。アイヒマンは彼らに感謝すらしていました。また、風貌も小柄で気の弱そうな人物で、家に帰れば、妻が居て、子供が居て、家族を大切に普通の父親だったそうです。

つまり、強制収容所にユダヤ人を大量に送ったことに対し、本人は命令と服従の原理にしたがって、感情を入れることなく、一個の歯車として命令にしたがって行動していたのであり、そこに本人の考えや意思は何もなかったとハンナ・アーレントは結論づけたのです。アーレントは後に「悪の陳腐さについての報告」という副題をこのレポートにつけているのですが、ハンナ・アーレントの名言をいくつかご紹介すると世界最大の悪は、ごく平凡な人間が行う悪です。そんな人には動機もなく、信念も邪心も悪魔的な意図もない。人間であることを拒絶した者なのです。そして、この現象を、私は”悪の凡庸さ”と名付けました。

- ・考えるのを止めたら人間じゃなくなる。
- ・私が望むのは、考えることで人間が強くなることです。危機的状態にあっても、考え抜くことで破滅に至らぬよう。

パスカルは人とは考えることができる存在だから偉大だと言っており、ハンナ・アーレントは考えない人は悪にも簡単に染まってしまうと言っており、とにかく自分で考えることがいかに重要かを説いています。

この研修の終了後、通常の日常に戻るのですが、本当にこの商品はお客様のニーズに合っているのか、本当にこのタイミングで売買するのがいいのだろうか？と常に考えるようになり、自分の考えでこの商品はニーズにあっていないと判断しても、ノルマがある以上、断れません。当然お客様も千差万別なので、ニーズに合うお客様に提案するのですが、だんだんと証券営業について疑問を持つようになってきました。ある日それを上司に相談すると、ならば法人営業をやってみてはどうか？法人は収益の予算はあるが、商品のノルマはなく、お客様の企業価値向上が最終目的であるため、常に考えて行動できるぞ！と言われ、京都で法人課に異動させてもらいました。その後は、大阪法人6年、福岡法人2年、東京法人2年、そして今の名古屋法人部で5年目であり、17年間法人営業をやっております。

以上が、私の自己紹介と職業に対する考え方なのですが、もう少し時間があれば、法人営業について、お話しします。法人部の主なお客様は、金融法人と事業法人に分かれます。もちろん宗教法人や学校法人、財団法人も担当ですが、金融法人部について少しだけ。

例えば、ここにいらっしゃる松尾さんの蒲郡信用金庫

さんですが、預金量が1兆4130億円、貸出金が6141億円、有価証券が5804億円、預け金が3806億となっています。

松尾支店長は主に預金と貸出金に関することは業務が主だとは思いますが、証券会社はこの中の有価証券の5804億円の運用のお手伝いをしており主に債券の提案をしています。蒲郡信金さんは、5804億円の内、1000億が国債、1000億が地方債、3600億が社債、株式が31億、その他証券が168億となっています。あ、これインサイダーでも何でもなく、蒲信さんのディスクロージャー誌に全部記載があります。細かく見ていくと、債券の年限(償還までの年数)がどれくらいで金利感応度(金利が動いた場合どれくらいの含み益、損になるのか?)はどれくらいなのか？保有されている事業債については、どれくらいのクレジットリスクを取っているのか？株式の保有比率が低いので、今後の金利上昇のために少し増やしませんか？などを提案していきます。

以上が証券会社の法人営業の一部のご紹介でした。本日はこのような機会を与えていただきありがとうございました。アイリスロータリークラブに入会して、5か月目に入りますが、皆様から色々な話を伺うことができ、私も人生の幅を広げることができたと思っております。この場をお借りし感謝申し上げます。今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。ありがとうございました！